第 63 回環境工学研究フォーラムの一般公開シンポジウム

2026 年 12 月 3 日（木）16:00-18:00

『環境工学における技術と思想の展開～持続可能な社会のために～』

司会：楠田 哲也（九州大学・名誉教授）

概 要：

私たちを取り巻く社会は多くの課題を抱えています。具体的には、高度成長期に整備した公共インフラの老朽化が進行し、人口も多くの都市で減少し始め、しかも若者の比率が低下するなどインフラの維持管理が難しくなる一方で、温暖化が進行し、しかも大きな災害が多く発生するようになってきています。加えて、持続可能な社会に向けて社会を変革していくことも求められています。

このような状況を受けて、公共インフラや公共サービスにおいても変革が迫られてきています。そこで、公共インフラや公共サービスの質を高めながら持続させることを願う観点に立ち、環境工学における技術の考え方を捉え直し、公共インフラのための技術の使い方を進化させ、持続可能性をも高められるように新たな構想を提案することを目的に、土木学会から「環境工学における技術と思想～持続可能な社会に向けて～」を出版することになりました。このシンポジウムでは、以下のように、この書物の筆者の方々から直接お考えを伺い、それをもとに議論していただくことを願っています。是非ご参加ください。

講演 1「環境に関わる技術の考え方」
（東北大学　佐野 大輔 教授）
講演 2「水環境分野における AI・DX の学術的貢献と、研究者・技術者の役割」
（中央大学　山村 寛 教授）
講演 3「水供給系の統合的考え方と人口減少への対応」
（北海道立総合研究機構　牛島 健 部長）
講演 4「持続可能な廃棄物処理・資源循環に関わる技術と思想」
（九州大学　中山 裕文 教授）
講演 5「環境保全・生態系保全のシステム思想」
（東京科学大学　吉村 千洋 ）
講演 6「社会環境変化に対応した持続可能な上下水道システムの構築思想」
（京都大学　伊藤 禎彦 教授）

以上